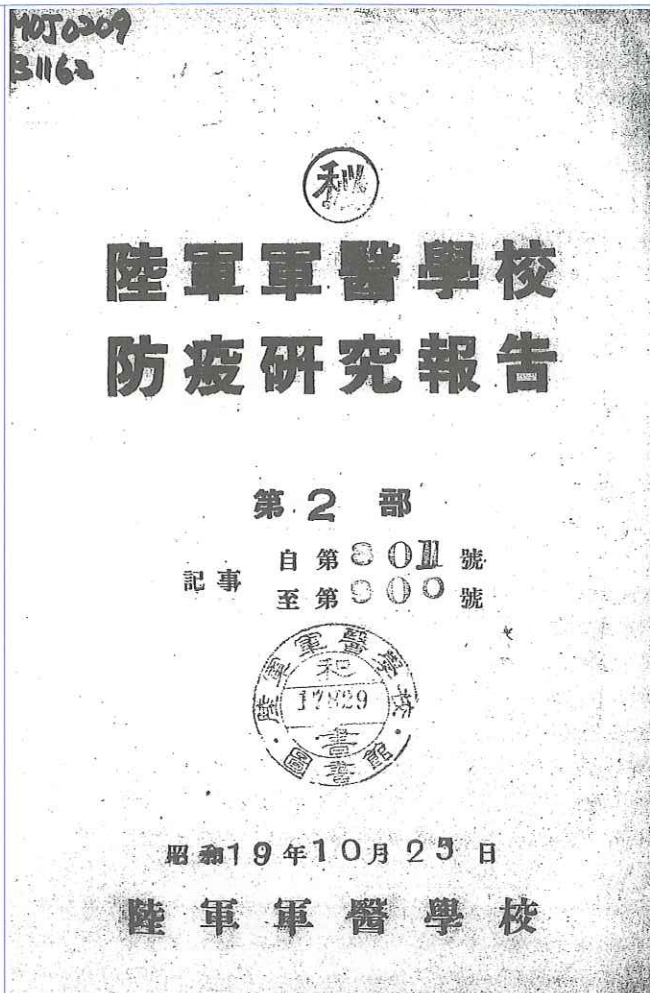


十五年戦争極秘資料集

アメリカで作成された「図書カード」



Ricupar Ounigasen, Seki Kenkyū Jinkō-sha
 1050209 陸軍軍医学校防疫研究報告 第2部
 (B1162) ...
 1921 Nos. 1-120 (v. 1, 18, 19, 95)
 1922 Nos. 130-230 (v. 110, 120, 135, 139, 195)
 Nos. 231-330
 : 301-400 (v. 321, 331, 364)
 1943: 401-500 (v. 472, 473)
 : 501-600
 1944: 601-700
 : 601-900

MICROFILMED 1985
 LIBRARY OF CONGRESS
 PHOTODUPLICATION SERVICE
 WASHINGTON, D.C.

補卷
23

陸軍軍医学校防疫研究報告

全8冊・別冊1

常石敬一 解説 本体価格

各冊20,000円＋税
 別冊のみ1,000円＋税

★戦前の「七三部隊」「二〇〇部隊」等を統轄する、陸軍軍医学校防疫研究室
 (石井四郎主幹)の研究の全容を知る極秘資料を復刻、解説を付して刊行!



不二出版

写真提供—常石敬一
 '04年5月3日、L.C.にて撮影

研究結果の米国への流出の実態を知る資料

常石敬一(神奈川大学教授)

今回の「防疫研究報告 第二部」の復刻は七三一部隊についての研究に新しい展望を切り開くことになるだろう。何よりも七三一部隊さらに防疫研究室の活動の全体像を明らかにする上で重要だ。そして戦後の、日本の研究結果の米国への流出の実態を知る上で貴重な資料となっている。さらに一九三〇年代から敗戦までの日本医学のワクチンなどの研究水準を知る上で必須の資料である。

七三一部隊の中枢が東京の陸軍軍医学校の防疫研究室であることを証拠したたのは、児童読み物作家の山中恒が一九八八年に発掘した六一冊の「防疫研究報告 第二部」だった。それが今回、全体の九〇パーセントに相当する八百冊強が復刻される。寄稿者には帝大の教授も含まれ、それなりに程度の高い論文が並んでいる。また研究主題も細菌学など医学分野だけでなく、濾水機に関する工学的な論文や、ソ連などの生物戦対応能力など多岐にわたっている。

今回の復刻で重要な点は元本が米国議会図書館

(L.C.)所蔵のものだということだ。L.C.に入る前に米軍の生物戦および医学専門家が読んでおり、随所に彼らの手になると思われる書き込みがある。この書き込みを通じて一九四〇年代から五〇年代にかけての米軍の生物戦の研究水準や関心のありようを知ることができる。

医学的にも貴重な宝の山

内藤裕史(筑波大学名誉教授)

七三一部隊で行われた研究の成果が、八〇〇篇に及ぶ医学論文として系統的にまとめて発表されている、そこで行われた研究の全貌を具体的に知ることが出来る瞠目すべき資料である。論文表題の目次だけでなく、研究に参加、論文を執筆した研究者の個人名の索引も付されている。研究者の総数は約三〇〇名にのぼり、当時、いかに多くの医学者たちがこの研究に携わっていたかが分かる。

ひとつの研究室からだけでなく、数年間に八〇〇篇の論文とは、いかに精力的に研究を行っていたかが伺われる。論文の生産性だけから言えば、現在の日本でも比肩する研究室はほとんどあるまい。目的がはっきりしている研究だけに、詳細に調査

することにより、埋もれていた医学的にも貴重な知見が、次から次に現れる宝の山と見ることも出来る。

医学界の戦争負担の解明に不可欠

西山勝夫(滋賀医科大学教授)

日本の二〇世紀前半はアジア諸国への干渉と侵略の戦争に明け暮れ、日本の医学界は七三一部隊に代表される医学犯罪などで荷担したが、戦後、米国との閣取引により暴かれることなく、医学界も解明、謝罪、反省、償いなどに取り組まず、二一世紀を迎えた。この時、日本全国の医学医療関係者の有志を主にして創立された「十五年戦争と日本の医学医療研究会」は闇に紛れてきた戦争負担の史実の解明や戦後責任の取り方などの探求を始めた。

七三一部隊長であった石井四郎が主幹として主催していた当時の陸軍軍医学校防疫研究室が、いって発行した第二部の九百号迄の随所に米国の側面書き込みがあるもののマイクロ・フィルム版で、遅くとも一九九一年には入手可能であったものが

推薦の辞(五十音順)

漸く復刻されることになった。第一部の全容が今だ不明だけでなく、第二部にも不可解な欠号があるが、本復刻の活用により、医学界の戦争負担の解明が促進されることであろう。

新たな七三一部隊解明の手掛かり

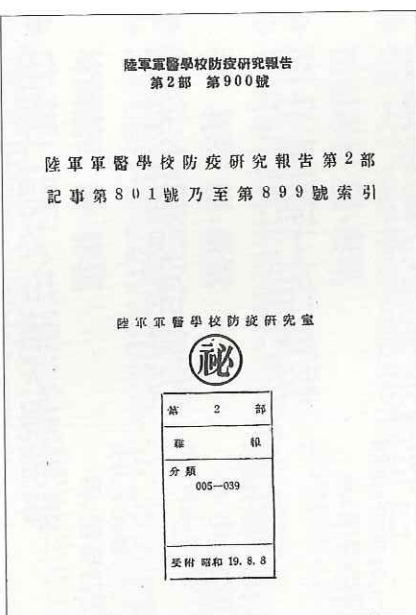
松村高夫(慶應義塾大学教授)

七三一細菌戦部隊隊長石井四郎が主幹を兼務した陸軍軍医学校防疫研究室の一連の研究報告は、これまで個人や大学図書館の所蔵になる一部しか知ることができなかったが、本書の刊行によりほぼその全容が現われた。八〇〇点の報告書は圧巻である。それは七三一部隊に直接間接に関わった医者たちが、一九四一年から四四年にかけて細菌兵器開発のためにどのような実験と研究を重ねたかを余すことなく明らかにする。

報告書の推進者であった内藤良一は凍結乾燥血清だけでなく細菌戦全般にわたり全体の報告数の一割を超える九九点を執筆している。内藤は朝鮮戦争時にミドリ十字の前身である日本ブラッド・バンクを設立し凍結乾燥血清を米軍に売り込み莫

大な富を得た人物である。ペストの高橋正彦は二八点、チフスの北条円了は一七点、ペストの野口圭一は一四四点、ガス壊疽の植村肇は一四四点という具合に七三一部隊員の執筆がつづく。植村は戦後永年にわたり教科書検定委員をつとめた人物である。部隊員以外にも続々と執筆者が登場するが、本書の刊行により日本の医学界と七三一部隊との関連性、その戦中と戦後の連続性に新たな解明の光が当てられ、七三一部隊と細菌戦の研究がもう一段高められるのは疑いえないところであろう。

本索引は百号ごとに付けられ、「内容索引」「執筆者索引」「記事索引」の三種類から成っている。



人体実験の真相にせまる報告

吉見義明(中央大学教授)

アメリカでは「日本帝国政府情報公開法」が二〇〇一年に発効したにもかかわらず、七三一部隊関係の機密資料の公開はほとんど進展していない。

このような中で、思いがけず、アメリカ議会図書館所蔵本を中心とする『防疫研究報告 第二部』が復刻されることは大きな朗報である。以前、同図書館で数冊見つけた記憶があるが、これほど大量に残っていたとは驚きである。索引によれば、ペスト・鼻疽・チフス・コレラやケオピスネズミノミ・凍結乾燥法などの研究が多いようである。農安・長春のペスト、浜松の食中毒(ゲルトネル)流行の調査や、コレラ・炭疽等々の流行に関する調査などもあるが、それだけでなく実に様々な実験や調査をやっていることがわかる。これで、各種人体実験や「一二回の野外試験」(フェル)など、七三一部隊に関する研究は一層進展するであろう。アメリカ軍がこれをどのように利用したのかを調べる手掛かりにもなりうる、というのにも興味深い。

① 大東亜戦争二伴フ我力人的国力ノ検討 高崎隆治 編・解説 ISBN4-8350-1001-9	⑪ 俘虜二関スル諸法規類聚 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1011-6	②① 戦時下国民栄養の現況調査報告書 清水勝嘉 編・解説 ISBN4-8350-1021-3
② ババル島事件関係書類 武富登巳男 編・解説 ISBN4-8350-1002-7	⑫ 軍律会議関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1012-4	②② 満州移民拓務局原資料 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1022-1
③ 沖縄秘密戦に関する資料 大城将保 編・解説 ISBN4-8350-1003-5	⑬ 華中宣撫工作資料 井上久士 編・解説 ISBN4-8350-1013-2	②③ 国民義勇隊関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1023-X
④ 満州事変における憲兵隊の行動に関する資料 岡部牧夫 編・解説 ISBN4-8350-1004-3	⑭ 思想彙報(上・下) 吉田 裕 編・解説 全2冊揃 ISBN4-8350-1014-0	②④ 久留米師団召集徴発雇用書類 武富登巳男 編・解説 ISBN4-8350-1023-X
⑤ 東京裁判 大山文雄関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1005-1	⑮ 朝鮮軍概要史 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1015-9	②⑤ 台湾霧社事件軍事関係資料 春山明哲 編・解説 ISBN4-8350-1023-6
⑥ 高等外事月報 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1006-X	⑯ 俘虜取扱に関する諸外国からの抗議集 内海愛子 編・解説 ISBN4-8350-1016-7	②⑥ 初期の満州国軍に関する資料 岡部牧夫 編・解説 ISBN4-8350-1023-4
⑦ 大東亜縦貫鉄道関係書類 原田勝正 編・解説 ISBN4-8350-1007-8	⑰ 在満軍法会議處刑特殊犯罪集 山中 恒 編・解説 ISBN4-8350-1017-5	②⑦ 陸海軍省法務局長巡察報告 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1027-2
⑧ 重慶中国国民党在港秘密機関検査状況 姫田光義 編・解説 ISBN4-8350-1008-6	⑱ 毒ガス戦関係資料 栗屋憲太郎・吉見義明 編・解説 ISBN4-8350-1018-3	②⑧ 朝鮮思想運動概況 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1028-0
⑨ 支那事変 動員概史 大東亜戦争間 大江志乃夫 編・解説 ISBN4-8350-1009-4	⑲ 台湾島内情報・本島人の動向 春山明哲 編・解説 ISBN4-8350-1019-1	②⑨ 七三部隊作成資料 田中明・松村高夫 編・解説 ISBN4-8350-1029-9
⑩ 戦争栄養失調症関係資料 清水勝嘉 編・解説 ISBN4-8350-1010-8	⑳ 海軍法務資料 馬場東作綴 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1020-5	③⑩ 外邦兵要地図整備誌 藤原 彰 編・解説 ISBN4-8350-1030-2

① 毒ガス戦教育関係資料 内藤裕史 編・解説 18,000円 ISBN4-8350-1031-0	⑪ 二反長音蔵・アヘン関係資料 倉橋正直 編・解説 8,500円 ISBN4-8350-1041-8	②① ベンゾイリン不正輸入事件関係資料 倉橋正直 編・解説 8,500円 ISBN4-8350-1430-8
② 毒ガス戦関係資料Ⅱ 吉見義明・松野誠也 編・解説 18,000円 ISBN4-8350-1032-9	⑫ 東亜諸民族の死亡に関する衛生統計的調査 金子 俊 編・解説 12,000円 ISBN4-8350-1042-6	②② 終戦後の法令制定・改正・廃止経過二覧 茶園義男 編・解説 6,800円 ISBN4-8350-1431-6
③ 思想彙報Ⅱ 荻野富士夫 編・解説 15,000円 ISBN4-8350-1033-7	⑬ 関東軍参謀部作成 総動員関係調査資料 永島勝介・安富 歩 編・解説 8,500円 ISBN4-8350-1043-4	②③ 陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1 常石敬一 解説 全9冊揃 161,000円 ISBN4-8350-5375-3
④ 戦時下国民栄養の現況調査報告書(昭和18年) 金子 俊 編・解説 15,000円 ISBN4-8350-1034-5	⑭ 軍律法廷審判例集 北 博昭 編・解説 8,500円 ISBN4-8350-1044-2	(以後、新資料発見次第、逐次刊行予定)
⑤ 第二次上海事変における第九師団軍医部「陣中日誌」 野田勝久 編・解説 18,000円 ISBN4-8350-1035-3	⑮ 南方方面海軍資料 野田勝久 編・解説 6,500円 ISBN4-8350-1045-0	
⑥ 盧溝橋事件期支那駐屯憲兵隊 重松関係文書 北 博昭 編・解説 6,000円 ISBN4-8350-1036-1	⑯ 陸軍に於ける花柳病 早川紀代 編・解説 6,500円 ISBN4-8350-1425-1	
⑦ 韓国併合始末 関係資料 海野福寿 編・解説 6,500円 ISBN4-8350-1037-X	⑰ 毒ガス戦教育関係資料Ⅱ 内藤裕史 編・解説 8,500円 ISBN4-8350-1426-X	
⑧ 軍隊警察の対立と憲兵司令部 重松関係文書Ⅱ 北 博昭 編・解説 6,000円 ISBN4-8350-1038-8	⑱ 十五年戦争末期国内憲兵分遣隊報告 北 博昭 編・解説 6,000円 ISBN4-8350-1427-8	
⑨ 南方地域現地自活教本 野田勝久 編・解説 8,500円 ISBN4-8350-1039-6	⑲ 日本占領下上海における日中要人インタビューの記録 高綱博文 編・解説 6,500円 ISBN4-8350-1428-6	
⑩ 戦後の皇軍 重松憲兵少佐綴 北 博昭 編・解説 6,000円 ISBN4-8350-1040-X	⑳ 満洲国軍ノ現況 松野誠也 編・解説 18,000円 ISBN4-8350-1429-4	

陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1

体裁——B4判・上製・函入・四面付・総約3、400頁

収録内容——第1号（第900号（内、欠号18、19、95、116、124、191、193、321、351、364、481、701、800）

昭和14年12月（昭和19年8月までの報告を収録）
『陸軍軍医学校防疫研究報告 第二部』
（陸軍軍医学校防疫学教室（主幹石井四郎）発行）

米国議会図書館所蔵マイクロフィルム（MOJ209）
及び、山中恒氏所蔵本

別冊——解説「常石敬一（神奈川大学教授）・総目次＋付録」米国立C.C.

以外の所蔵（第702、710、711、725、736、739、763、778、780、790号）山中氏所蔵資料
※別冊のみ分売可1、000円＋税 ISBN4-8350-5364-8

推薦——常石敬一・内藤裕史・西山勝夫・松村高夫・吉見義明

配本

- 第1回配本＝第1冊（04年5月）本体価格20、000円＋税 ISBN4-8350-5356-7
- 第2回配本＝第2冊（04年8月）本体価格20、000円＋税 ISBN4-8350-5357-5
- 第3回配本＝第3冊（04年10月）本体価格20、000円＋税 ISBN4-8350-5358-3
- 第4回配本＝第4冊（04年12月）本体価格20、000円＋税 ISBN4-8350-5359-1
- 第5回配本＝第5冊（05年4月）本体価格20、000円＋税 ISBN4-8350-5360-5
- 第6回配本＝第6冊（05年7月）本体価格20、000円＋税 ISBN4-8350-5361-3
- 第7回配本＝第7冊（05年10月）本体価格20、000円＋税 ISBN4-8350-5362-1
- 第8回配本＝第8冊（05年12月）本体価格21、000円＋税 ISBN4-8350-5363-X

揃価——全8冊・別冊1＝161、000円＋税

●関連図書「復刻版」のご案内

陸軍軍医学校 編「昭和11年刊」

陸軍軍医学校五十年史

本書は、昭和二十一年陸軍軍医学校が創立五〇年目に刊行した、旧陸軍衛生部の基本資料である。数多くの旧陸軍衛生部の資料の中でも、本書は五〇年間の衛生部の歴史の記録であり、医学史、軍事史の研究に不可欠の資料である。

清水勝嘉 序・解説／B5判・上製・804頁
本体価格20、000円＋税 ISBN4-8350-2364-1

中国・黒龍江人民出版社 発行「取扱図書」

「七三部隊」罪行鉄証

——関東憲兵隊「特移扱」文書

本書は、中国黒龍江省档案館（公文書館）所蔵の旧日本軍関東憲兵隊が作成した捕虜取扱いに関する極秘書類五一件を収録する。資料は全てカラー印刷にて収録。他に詳細な解説及び関係年表を付す。

A4判・上製・394頁
本体価格15、000円＋税 ISBN4-8350-3559-3

中国・吉林人民出版社 発行「取扱図書」

「七三部隊」罪行鉄証

——特移扱・防疫文書編集

本書は、中国吉林省档案館所蔵の旧日本軍関東憲兵隊作成の「特移扱」文書及び七三一部隊が新京（現在の長春）農安で実施した「防疫」に関する文書一四〇点をカラー印刷し収録したものである。

A4判・上製・528頁
本体価格25、000円＋税 ISBN4-8350-3558-5

表示価格は全て税別

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘一丁目二
TEL 03-3811-4433
FAX 03-3811-4464
振替 001601940084